

北海道観光入込客数調査報告書

平成25年度

平成26年8月

北海道経済部観光局

北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

1 北海道観光入込客数調査について

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に準じて平成22年度に道が改正した「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、観光入込客数などを推計したものです。

2 調査内容

(1) 観光入込客数（実人数）

市町村が行う観光地点等入込客数調査、道が行う観光地点パラメータ調査及び観光庁が提供する宿泊観光入込客数などのデータなどにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。

訪日外国人来道者数（実人数）については、日本政府観光局（JNTO）の訪日外客数や訪日外客訪問地調査などにより推計した北海道を訪れた外国人の実人数

(2) 観光入込客数（延べ人数）

各市町村の観光入込客数を集計した観光入込客数の延べ人数

延べ人数：市町村の実人数の単純合計

（1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。）

(3) 観光消費額単価

観光地点パラメータ調査により、道内客、道外客、外国人について、「観光」、「ビジネス兼観光」別に推計した観光消費額単価

3 利用上の留意事項

各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

I 観光入込客数（実人数）

1 概況

平成25年度の観光入込客数は、5,310万人となりました（前年度比4.2%増）。

景気の緩やかな回復に伴い国内外の観光需要が引き続き回復傾向にあったほか、集客力のある大規模なイベントの開催などから、4月の低温に続くゴールデンウィークの悪天候やJR北海道の事故等による特急列車の一部運休などの影響はありましたが、前年度に比べ4.2%の増加となり、算定方式の変更はあるものの、平成11年度の5,149万人を超えて過去最高となりました。

2 道内客・道外客・外国人別

道内客・道外客・外国人別にみると、道内客は4,629万人、道外客は565万人、外国人が115万人となり、構成比では、道内客が87.2%、道外客が10.6%、外国人が2.2%となっています。

3 日帰り客・宿泊客別

日帰り客・宿泊客別にみると、日帰り客は3,658万人、宿泊客は1,652万人となり、構成比では、日帰り客が68.9%、宿泊客が31.1%となっています。

4 四半期別

四半期別にみると、第1四半期が1,482万人（構成比27.9%、前年度比8.7%増）、第2四半期が2,045万人（同38.5%、同1.7%増）、第3四半期が838万人（同15.8%、同4.9%増）、第4四半期が945万人（同17.8%、同2.2%増）となっています。

<平成25年度 観光入込客数(実人数)>

区 分	日帰り客	宿泊客	計	前年度比	構成比	
第1四半期 (4~6月)	道内客	1,101万人	235万人	1,335万人	+8.6%	90.1%
	道外客	1万人	126万人	127万人	+6.7%	8.6%
	外国人	—	20万人	20万人	+37.0%	1.3%
	合 計	1,102万人	380万人	1,482万人	+8.7%	100.0%
第2四半期 (7~9月)	道内客	1,531万人	275万人	1,806万人	+0.8%	88.3%
	道外客	8万人	197万人	205万人	+4.6%	10.0%
	外国人	—	33万人	33万人	+43.9%	1.6%
	合 計	1,539万人	506万人	2,045万人	+1.7%	100.0%
第3四半期 (10~12月)	道内客	454万人	240万人	695万人	+4.2%	82.9%
	道外客	1万人	118万人	119万人	+2.6%	14.2%
	外国人	—	24万人	24万人	+41.4%	2.9%
	合 計	455万人	383万人	838万人	+4.9%	100.0%
第4四半期 (1~3月)	道内客	560万人	233万人	793万人	+0.8%	83.9%
	道外客	2万人	112万人	114万人	+0.9%	12.1%
	外国人	—	39万人	39万人	+56.0%	4.1%
	合 計	562万人	384万人	945万人	+2.2%	100.0%
合 計	道内客	3,646万人	983万人	4,629万人	+3.4%	87.2%
	道外客	12万人	553万人	565万人	+3.9%	10.6%
	外国人	—	115万人	115万人	+45.9%	2.2%
	合 計	3,658万人	1,652万人	5,310万人	+4.2%	100.0%

5 訪日外国人来道者数（実人数）

(1) 概況

平成25年度の訪日外国人来道者数は、115万3,100人となり、年度としてはじめて100万人を超え、日本全体の訪日外客数1,098万人の約1割を占めています。

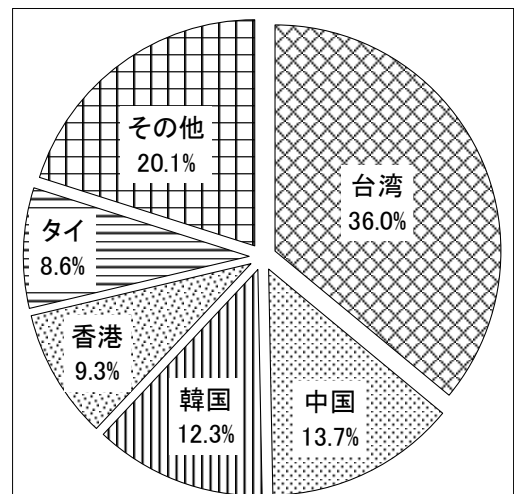
前年末から円安傾向で推移したことに加え、7月に東南アジア諸国に対する査証要件が緩和されたことや、新千歳空港－バンコク直行便が10月に週4便から毎日1便へ増便になったことなどからタイが大幅に伸びたほか、1月から2月の春節には中国をはじめ各国が増加したことなどから、前年度に比べて45.9%増加し、過去最高となりました。

(2) 国・地域別

本道観光の主要市場であるアジア地域からの来道者は99万3,600人で、前年度に比べて50.2%の増加となりました。

国・地域別で見ると、台湾が41万5,600人（前年度比48%増）と最も多く、次いで、中国が15万8,300人（同54.9%増）となっています。特にタイは前年度比167%増の9万8,800人となり、平成24年10月の直行便就航以降、増加傾向が続いています。

来道者数の多い主要な国・地域別の特徴は次のとおりです。



台湾	旅行需要の高まりから、台北から道内各空港を結ぶ便に加え、中南部の台中や高雄からのチャーター便などが数多く運航され、座席供給量の拡大と旅行商品の多様化が図られたことや、円安による旅行商品の割安感から、過去最高を記録した昨年度を更に更新し、48%の増加となりました。
中国	平成24年9月からの日中間情勢の影響が長引き、年度前半は団体旅行を中心に低迷しましたが、後半は一転、チャーター便が運航されるなどプラスに転じ、通年では約55%の増加となりました。
韓国	第3四半期は、放射能汚染水の風評被害により前年度を13%下回りましたが、第4四半期には持ち直し、通年では15%の増加となりました。
香港	円安傾向の継続による訪日旅行商品の割安感の定着や羽田などへのLCCの新規就航などを背景に、全四半期で増加し、通年では48%の増加となりました。
タイ	平成24年7月1日から短期滞在を目的として訪日するタイ人向けの査証免除措置が開始されたほか、バンコクからの直行便機材の大型化や、10月から始まった毎日運航などから、167%の増加となりました。

<平成25年度訪日外国人来道者数(実人数)>

(単位:人)

区 分		中 国	韓 国	台 湾	香 港	シンガポール	マレーシア	タイ	小計
第1四半期 (4~6月)	25年度	18,900	31,500	80,700	18,700	7,800	6,800	11,500	175,900
	24年度	23,500	26,700	49,800	13,800	5,700	4,300	3,500	127,300
	前年同期比	△19.6%	+18.0%	+62.0%	+35.5%	+36.8%	+58.1%	+228.6%	+38.2%
第2四半期 (7~9月)	25年度	32,300	52,300	125,100	36,500	12,900	13,100	29,700	301,900
	24年度	35,400	40,900	81,000	22,600	7,200	6,700	10,200	204,000
	前年同期比	△8.8%	+27.9%	+54.4%	+61.5%	+79.2%	+95.5%	+191.2%	+48.0%
第3四半期 (10~12月)	25年度	28,200	18,500	102,600	28,000	10,500	5,700	12,300	205,800
	24年度	15,000	21,200	72,000	16,400	7,000	3,400	3,800	138,800
	前年同期比	+88.0%	△12.7%	+42.5%	+70.7%	+50.0%	+67.6%	+223.7%	+48.3%
第4四半期 (1~3月)	25年度	78,900	39,300	107,200	24,100	4,400	10,800	45,300	310,000
	24年度	28,300	34,800	78,000	19,800	3,600	7,600	19,500	191,600
	前年同期比	+178.8%	+12.9%	+37.4%	+21.7%	+22.2%	+42.1%	+132.3%	+61.8%
合 計	25年度	158,300	141,600	415,600	107,300	35,600	36,400	98,800	993,600
	24年度	102,200	123,600	280,800	72,600	23,500	22,000	37,000	661,700
	前年同期比	+54.9%	+14.6%	+48.0%	+47.8%	+51.5%	+65.5%	+167.0%	+50.2%

区 分		ロシア	米 国	カナダ	オーストラリア	その他	合計
第1四半期 (4~6月)	25年度	3,100	4,000	1,700	3,100	9,200	197,000
	24年度	2,400	3,000	1,400	2,600	7,100	143,800
	前年同期比	+29.2%	+33.3%	+21.4%	+19.2%	+29.6%	+37.0%
第2四半期 (7~9月)	25年度	4,000	7,700	3,200	2,500	14,100	333,400
	24年度	4,000	5,600	2,600	2,000	13,500	231,700
	前年同期比	±0.0%	+37.5%	+23.1%	+25.0%	+4.4%	+43.9%
第3四半期 (10~12月)	25年度	2,700	4,700	2,600	3,500	17,700	237,000
	24年度	2,400	4,100	2,500	2,800	17,000	167,600
	前年同期比	+12.5%	+14.6%	+4.0%	+25.0%	+4.1%	+41.4%
第4四半期 (1~3月)	25年度	3,300	17,100	3,200	26,300	25,800	385,700
	24年度	2,300	11,000	2,900	22,000	17,500	247,300
	前年同期比	+43.5%	+55.5%	+10.3%	+19.5%	+47.4%	+56.0%
合 計	25年度	13,100	33,500	10,700	35,400	66,800	1,153,100
	24年度	11,100	23,700	9,400	29,400	55,100	790,400
	前年同期比	+18.0%	+41.4%	+13.8%	+20.4%	+21.2%	+45.9%

Ⅱ 観光入込客数（延べ人数）

1 総数

平成25年度の全道179市町村における観光入込客数（実数）を合計した総数（延べ人数）は、1億3,179万人で、前年度に比べて3.4%の増加となりました。

また、宿泊客延べ数の合計は、3,215万人泊で、前年度に比べて6.1%の増加となりました。

2 圏域別

圏域別の観光入込客数（延べ人数）を見ると、6圏域とも前年度に比べ増加しており、道南圏5.6%、道央圏4.3%、釧路・根室圏2.3%、オホーツク圏1.8%、道北圏1.2%、十勝圏0.6%の増加となりました。

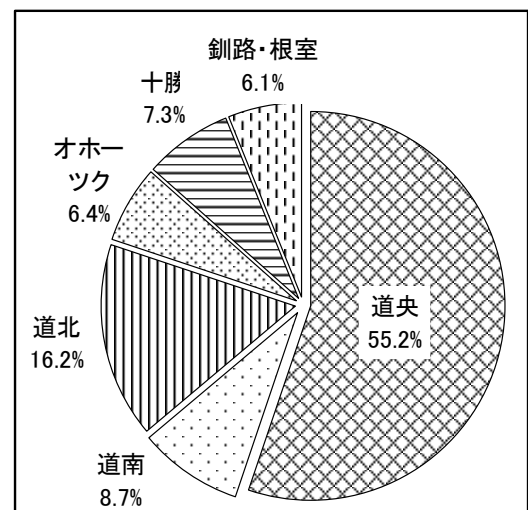
また、宿泊客延べ数でも、道南圏を除く5圏域が前年度に比べ増加しました。

なお、各圏域の特徴は次のとおりです。

道 央 圏	平成25年4月は雪解けが遅く、中山峠の一時通行止めなどによる減少はありましたが、5月以降はLCCの新規就航や、9月に札幌市で開催された全国から多数の来場者を集めたトークショーをはじめとする各種イベントがあったほか、冬季はスキー場やイベントが好調だったことなどにより増加しました。
道 南 圏	平成24年11月の道央道森・大沼公園間の開通による交通アクセス向上に加え、平成25年7月に函館市で開催された全国から多数のファンを集めた人気グループのコンサートをはじめとする各種イベントや江差線廃線前の乗客増などにより、JR北海道の列車事故やホテルの長期休業などはありましたが増加しました。
道 北 圏	夏季は天候に恵まれ、平成25年7月には上川町に「大雪森のガーデン」がオープンしたほか、3月の深川留萌自動車道留萌・大和田間の開通や6月の台北～旭川直行便の就航による交通アクセスの向上に加え、冬季はスキー場が好調だったことなどにより増加しました。
オホーツク圏	平成24年7月にリニューアルオープンした「山の水族館」（北見市）の来場者が増加したほか、夏季には道外路線の機材大型化があったことなどから、流氷の接岸の遅れや、平成26年2月、3月の暴風雪の影響はありましたが増加しました。
十 勝 圏	平成23年10月に開通した道東道夕張・占冠間を利用した道央圏からの流入が定着したほか、十勝ワイン生誕50周年（池田町）に関連するイベントなどにより、冬季は少雪によるスキー場のオープンの遅れはありましたが微増となりました。
釧路・根室圏	平成23年10月の道東道夕張・占冠間を利用した道央圏からの流入が定着したことから、6月になった知床横断道路の開通の遅れや、2月、3月の暴風雪による影響はありましたが増加となりました。

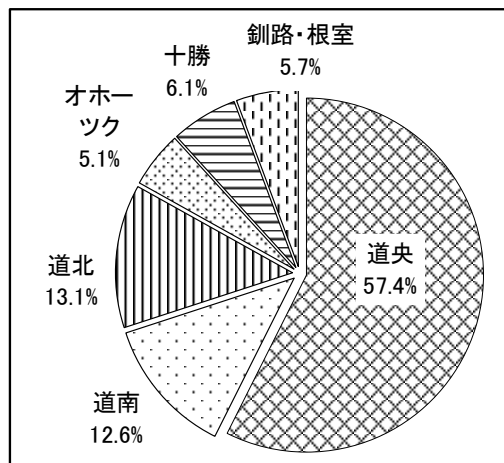
<圏域別観光入込客数(延べ人数)>

圏 域	観光入込客数	前年度比	増減数	構成比
道 央	7,273万人	+4.3%	+303万人	55.2%
道 南	1,144万人	+5.6%	+61万人	8.7%
道 北	2,141万人	+1.2%	+25万人	16.2%
オホーツク	847万人	+1.8%	+15万人	6.4%
十 勝	967万人	+0.6%	+6万人	7.3%
釧路・根室	806万人	+2.3%	+18万人	6.1%
合 計	13,179万人	+3.4%	+429万人	100.0%



〈圏域別宿泊客延べ数〉

圏域	宿泊客延べ数	前年度比	増減数	構成比
道央	1,845万人泊	+8.4%	+143万人泊	57.4%
道南	405万人泊	△0.1%	△0.5万人泊	12.6%
道北	421万人泊	+8.0%	+31万人泊	13.1%
オホーツク	165万人泊	+1.1%	+2万人泊	5.1%
十勝	196万人泊	+1.8%	+3万人泊	6.1%
釧路・根室	182万人泊	+3.7%	+7万人泊	5.7%
全道	3,215万人泊	+6.1%	+185万人泊	100.0%



3 市町村別

観光入込客数（実人数）を市町村別でみると、札幌市が1,356万人（前年度比4.0%増）で最も多く、次いで、小樽市711万人（同7.7%増）、旭川市533万人（同7.5%減）、以下、千歳市、函館市、釧路市、登別市の順となっています。

一方、宿泊客延べ数でみると、札幌市が1,090万人泊（前年度比8.3%増）で最も多く、次いで、函館市353万人泊（同1.5%増）、登別市121万人泊（同9.9%増）、以下、釧路市、帯広市、倶知安町、小樽市の順となっています。

〈観光入込客数(実人数)の多い市町村〉

順位	市町村名	入込客数	前年度比
1	札幌市	1,356万人	+4.0%
2	小樽市	711万人	+7.7%
3	旭川市	533万人	△7.5%
4	千歳市	503万人	+3.1%
5	函館市	482万人	+7.1%
6	釧路市	353万人	+5.7%
7	登別市	332万人	+16.8%
8	喜茂別町	264万人	+2.7%
9	洞爺湖町	260万人	+15.9%
10	帯広市	251万人	+1.0%
11	上川町	203万人	+12.7%
12	七飯町	198万人	+11.4%
13	苫小牧市	184万人	△2.7%
14	石狩市	182万人	+6.0%
15	富良野市	177万人	△0.6%
16	白老町	175万人	+3.0%
17	伊達市	172万人	+16.7%
18	壮瞥町	168万人	+10.5%
19	北見市	159万人	+9.0%
20	二セコ町	157万人	+11.2%

〈宿泊客延べ数の多い市町村〉

順位	市町村名	宿泊客延べ数	前年度比
1	札幌市	1,090万人泊	+8.3%
2	函館市	353万人泊	+1.5%
3	登別市	121万人泊	+9.9%
4	釧路市	120万人泊	+3.7%
5	帯広市	97万人泊	+1.5%
6	倶知安町	89万人泊	+2.2%
7	小樽市	75万人泊	+6.2%
8	上川町	73万人泊	+7.6%
9	旭川市	69万人泊	+9.2%
10	富良野市	68万人泊	+9.2%
11	洞爺湖町	57万人泊	+15.9%
12	二セコ町	54万人泊	+20.5%
13	北見市	52万人泊	+5.8%
14	斜里町	45万人泊	△2.1%
15	網走市	45万人泊	△0.6%
16	音更町	44万人泊	△3.0%
17	稚内市	40万人泊	△3.1%
18	留寿都村	38万人泊	+6.1%
19	占冠村	36万人泊	+14.1%
20	室蘭市	29万人泊	△0.1%

4 訪日外国人来道者の宿泊延べ数

(1) 国・地域別

平成25年度の訪日外国人来道者の宿泊延べ数は、368万8千人泊で、前年度に比べて47.5%の大幅な増加となりました。

国・地域別に見ると、台湾が130万8千人泊で全体の35.5%を占め最も多く、次いで香港が51万6千人泊で14.0%、中国が41万2千人泊で11.2%、韓国が30万1千人泊で8.1%、タイが24万6千人泊で6.7%、以下シンガポール、オーストラリアなどの順となっています。

(2) 圏域別

圏域別に見ると、道央圏が267万人泊と全道の72.4%を占め最も多く、次いで道北圏、道南圏、十勝圏、釧路・根室圏、オホーツク圏の順となっています。

前年度と比較すると、道北圏の前年度比61.7%増をはじめ、十勝圏を除く各圏域で増加となり、全道では47.5%増加しました。

〈圏域別訪日外国人来道者宿泊延べ数〉

(単位:人泊)

圏域	ア ジ ア										
	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	インドネシア	フィリピン	ベトナム
道央	337,294	257,775	748,669	394,927	179,257	78,548	203,666	1,794	18,789	4,728	996
道南	18,469	15,649	225,538	18,589	8,936	2,675	9,944	235	1,307	99	15
道北	29,317	18,437	206,636	45,893	29,704	7,868	26,147	183	2,217	252	104
オホーツク	8,148	2,792	27,958	23,929	5,807	1,865	2,609	41	222	36	15
十勝	7,150	2,871	45,795	20,742	13,443	2,484	1,896	2	508	60	10
釧路・根室	11,354	3,080	53,162	11,692	7,733	2,573	1,566	135	218	238	131
全道	411,732	300,604	1,307,758	515,772	244,880	96,013	245,828	2,390	23,261	5,413	1,271
前年度比	+56.1%	+13.1%	+49.1%	+42.0%	+46.6%	+83.6%	+199.2%	+29.5%	-	-	-
構成比	11.2%	8.1%	35.5%	14.0%	6.6%	2.6%	6.7%	0.1%	0.6%	0.1%	0.0%

圏域	ヨーロッパ				北 米		オーストラリア	その他	計	24年度	前年度比
	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ					
道央	19,473	13,635	5,693	4,868	60,525	9,787	203,830	126,162	2,670,416	1,785,870	+49.5%
道南	159	461	436	343	3,039	893	1,231	15,646	323,664	208,150	+55.5%
道北	2,044	956	1,174	635	4,067	1,121	16,998	12,086	405,839	251,041	+61.7%
オホーツク	430	294	437	187	1,337	213	615	1,895	78,830	63,993	+23.2%
十勝	111	163	218	56	1,015	96	8,822	2,107	107,549	116,370	△7.6%
釧路・根室	2,785	626	364	191	2,116	257	629	3,310	102,160	75,681	+35.0%
全道	25,002	16,135	8,322	6,280	72,099	12,367	232,125	161,206	3,688,458	2,501,105	+47.5%
前年度比	+18.3%	+14.5%	+40.9%	+19.7%	+49.0%	+25.7%	+21.3%	+21.8%	+47.5%		
構成比	0.7%	0.4%	0.2%	0.2%	2.0%	0.3%	6.3%	4.4%	100.0%		

※十勝圏については、平成24年度下期における一部宿泊施設の集計誤りにより、前年度比がマイナスとなっています。

(3) 市町村別

市町村別に見ると、札幌市が136万1千人泊（前年度比59.3%増）で最も多く、次いで登別市が31万5千人泊（同49.3%増）、函館市30万人泊（同59.8%増）、倶知安町27万4千人泊（同20.0%増）、上川町18万人泊（同54.1%）となっています。

【宿泊延べ数の多い上位5カ国・地域】

順位	国名	宿泊延べ数	前年度比
1	台湾	1,307,758人泊	+49.1%
2	香港	515,772人泊	+42.0%
3	中国	411,732人泊	+56.1%
4	韓国	300,604人泊	+13.1%
5	タイ	245,828人泊	+199.2%

【宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	1,361,301人泊	+59.3%
2	登別市	314,506人泊	+49.3%
3	函館市	300,244人泊	+59.8%
4	倶知安町	273,928人泊	+20.0%
5	上川町	179,999人泊	+54.1%

【中国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	180,005人泊	+48.7%
2	北広島市	22,480人泊	+287.0%
3	壮瞥町	21,741人泊	+46.7%
4	洞爺湖町	18,622人泊	+86.9%
5	登別市	17,578人泊	+35.6%

【韓国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	134,649人泊	+30.2%
2	登別市	48,709人泊	+8.6%
3	留寿都村	12,532人泊	+1.0%
4	洞爺湖町	11,434人泊	+43.5%
5	小樽市	11,050人泊	+16.0%

【台湾の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	391,198人泊	+54.5%
2	函館市	216,106人泊	+57.6%
3	登別市	164,837人泊	+57.1%
4	上川町	121,134人泊	+59.9%
5	洞爺湖町	59,888人泊	+54.2%

【香港の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	219,809人泊	+54.5%
2	倶知安町	45,438人泊	+12.6%
3	登別市	32,029人泊	+43.6%
4	小樽市	22,722人泊	+35.1%
5	ニセコ町	20,398人泊	+16.2%

【シンガポールの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	87,487人泊	+87.3%
2	倶知安町	24,275人泊	+41.5%
3	登別市	18,781人泊	+70.1%
4	上川町	15,628人泊	+36.1%
5	ニセコ町	9,649人泊	+11.8%

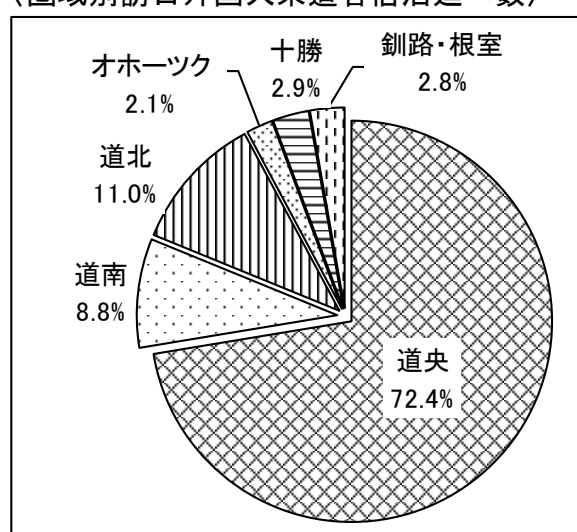
【タイの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	128,513人泊	+217.2%
2	登別市	15,873人泊	+304.5%
3	上川町	12,955人泊	+89.7%
4	壮瞥町	11,190人泊	+152.3%
5	函館市	9,667人泊	+239.7%

【オーストラリアの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	倶知安町	143,904人泊	+12.4%
2	ニセコ町	19,929人泊	+31.1%
3	札幌市	18,716人泊	+66.7%
4	留寿都村	15,012人泊	+48.1%
5	富良野市	14,128人泊	+68.9%

〈圏域別訪日外国人来道者宿泊延べ数〉



Ⅲ 観光消費額単価

道内13の観光地点において実施したパラメータ調査により得られた観光消費額単価は、下表のとおりとなっています。

＜平成25年度 観光消費額単価＞

(単位：円)

区 分		日帰り	宿泊
第1 四半期	道内容	観光	4,046 (3,961) 21,212 (20,710)
		ビジネス兼観光	4,885 (2,013) 20,616 (32,338)
	道外客	観光	9,250 (9,188) 76,053 (75,843)
		ビジネス兼観光	5,242 () 25,477 (59,384)
	外国人	観光	13,653 () 120,124 (119,809)
		ビジネス兼観光	7,832 () 63,285 (52,632)
第2 四半期	道内容	観光	3,314 (3,295) 24,571 (24,343)
		ビジネス兼観光	4,614 (2,334) 20,674 (22,413)
	道外客	観光	22,800 (22,419) 83,034 (82,402)
		ビジネス兼観光	5,267 () 24,548 (30,316)
	外国人	観光	14,221 () 126,413 (126,046)
		ビジネス兼観光	8,184 () 58,468 (55,241)
第3 四半期	道内容	観光	4,016 (3,987) 22,325 (21,811)
		ビジネス兼観光	4,721 (4,028) 20,461 (32,788)
	道外客	観光	20,441 (20,100) 66,567 (65,361)
		ビジネス兼観光	5,199 () 25,115 (42,820)
	外国人	観光	13,276 () 135,207 (134,217)
		ビジネス兼観光	9,499 () 52,649 (62,414)
第4 四半期	道内容	観光	2,916 (2,850) 21,268 (20,673)
		ビジネス兼観光	6,071 (4,425) 20,917 (24,716)
	道外客	観光	23,250 (23,143) 75,172 (74,867)
		ビジネス兼観光	5,200 (5,582) 28,176 (26,458)
	外国人	観光	14,560 (13,330) 120,791 (119,419)
		ビジネス兼観光	8,513 (7,423) 39,815 (65,442)

※ () 内の数値は、前年度の単価です。

「観光消費額単価」は、道内13の観光地点で実施したパラメータ調査により得られたサンプルから算出しています。

なお、H23年度から、外国人の「観光」については、上記の道内13の観光地点に加え、新千歳空港において実施した調査により算出していますが、「ビジネス兼観光」はサンプルが少ないため、観光庁から提供された単価を掲載しています。

また、H24年度第4四半期からは、道内容、道外客、外国人客とも、「ビジネス兼観光」は観光庁から単価が提供されることとなったため、その値を掲載しています。

北海道観光入込客数調査報告書 [平成25年度]

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.htm>

平成26年8月

北海道経済部観光局観光地づくりグループ

札幌市中央区北3条西6丁目

電話番号（代表）011-231-4111 内線 26-564

（直通）011-204-5303

FAX番号（直通）011-232-4120
